

# 石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

## 日時

平成23年11月23日(水) 14:00～15:50

## 会場

稲井小学校 体育館

## 参加者数

約60名

## 主なご意見

### 災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
堤防道路の整備では、散策する歩道も造ってほしい。また、安心して通れる道路づくりを目指してほしい。	堤防は、地盤沈下したところは元の高さに復旧し、無堤箇所は新たに整備する。道路整備は管理者と相談して進めたい。散策路については地区の方と意見交換しながら検討したい。【回答：北上川下流河川事務所長】
避難路が少ないと思うがいかがか。	渡波地区から、稲井に抜ける道路を新設したい。南境と水押を結ぶ道路も計画している。都市計画道路として位置付けられてあっても、なかなか整備が追いつかなかった道路の整備も急ぎたい。
高盛土道路の盛土材は、石巻の山を安易に削らないでほしい。	まだ具体的に決まっていない。
冠水対策を講じてほしい。大潮になると長靴を履かないと家からも出られない。	実情を把握している。地盤沈下しているので、復旧するが災害復旧が追いついていない。
避難ビルは地区ごとに整備するのか、内容はこういったものになるのか。	基本的には徒歩5分以内単位に設置すべきと国から示されているが、現実的には難しいため、各地区に設置されている民間ビル（鉄筋コンクリート造・2階建以上）の所有者と協定を結び、水や食料、毛布等の物資を保管していただく。今後整備する公共施設がある場合は、鉄筋コンクリート造・3階建以上とし、物資を保管するスペースを設ける。具体的場所は未定だが、バランス良く指定していく考え。鉄筋コンクリート造の建築物ができない場所には、避難タワーを検討する。
防災無線が聞き取れない。貴重な情報収集の手段なので改善してほしい。	平成25年度までの整備となるが、新しい無線に切り替えていく。沿岸部が中心になるが戸別受信機の整備も行いたい。
放射能について、県に頼らずに市でも対策、測定をしてほしい。	放射能測定は現在、市内120か所で行っている。公立の保育所、小中学校と駅前広場では毎日測定しており、民間保育所、幼稚園、各総合支所は2週間に1回計測している。

質問・意見	回答
蛇田に2,000戸の住宅地を計画した理由は。	市街地区域に隣接したところを選定している。戸数は、南浜・門脇地区の方が防災集団移転事業で移転する戸数を想定したもの。

## 自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる

質問・意見	回答
今年度から3年の復旧期に産業はどのくらい復旧するのか。	水産加工業等の中小企業についてはグループ補助金により復旧の見通し。加工団地の地盤嵩上げ、1,200m岸壁の復旧が平成25年度までに完了する予定。
中心商店街の再生は。	河口部を整備し、災害公営住宅等を造り、人を集める。公営住宅の1階を医療機関にするなどして高齢者も安心できるような街としたい。南浜地区及び中瀬は公園化、八間道路の北側及び川岸は区画整理事業または河川と一体になった街づくりを考えている。避難路として日和山への道路を整備したい。

## その他

質問・意見	回答
具体的なタイムスケジュール市報等で周知してほしい。市報のページを増やし、また、市のホームページを見やすくしてほしい。	具体的なスケジュールは、今後、国の予算を獲得しながら計画を策定し市報等でお知らせする。市報は現在24ページだが、来年4月から32ページとし情報を充実させる。ホームページは同様の意見が寄せられ、見直しをかけているところなので近々トップページが変わる予定。